



2026年2月24日

各 位

会 社 名 ス テ ラ ケ ミ フ ァ 株 式 会 社
代 表 者 名 代 表 取 締 役 社 長 橋 本 亜 希
(コード番号：4109 東証プライム市場)
問 合 せ 先 取 締 役 執 行 役 員 経 理 部 長 中 島 康 彦
(TEL. 06-4707-1512)

資本業務提携および第三者割当による自己株式の処分に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、Soulbrain Holdings Co., Ltd.（以下「割当予定先」または「Soulbrain」といいます。）との間で、資本業務提携（以下「本資本業務提携」といいます。）を実施する契約（以下「本資本業務提携契約」といいます。）を締結すること、および、本資本業務提携に基づき Soulbrain に対する第三者割当による自己株式の処分（以下「本第三者割当」といいます。）を行うことを決議いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

I. 本資本業務提携の概要

1. 本資本業務提携の目的および理由等

(1) 本資本業務提携の目的および理由

当社は、フッ素化合物を中心とする高純度薬品の製造、販売を主たる業務として行っています。当社製品には、半導体デバイスの高集積度化を可能にするエッチング・洗浄用の超高純度薬液、タンタルコンデンサー用タンタル製造助剤、医薬品・化学品の中間体製造時の触媒、歯磨き用添加剤といったフッ素化合物や、原子力関連施設向け濃縮ホウ素化合物等があり、その用途は多岐にわたっています。

また、当社は、それぞれの事業において、「迅速果断」な意思決定のもと、既成概念にとらわれない強靱な経営体制を築くため、事業活動を通じて適正な利益を確保し、変化を恐れず常に前向きに挑戦し続ける経営の実践に努め、ステークホルダーの期待に応えるべく、「健全で信頼される企業」として社会に貢献していくことを経営の基本方針として掲げています。

本基本方針のもと、当社では現在、「変革」の時期と位置付ける第4次中期経営計画における各分野での施策に取り組んでいます。主力製品である半導体用高純度薬液は、高い品質と安定供給体制を強みとして競争力を築いてきた中、この競争力を維持すべく、国内外の半導体メーカーより投資計画が打ち出されている状況下において、機を逃さず顧客のニーズに応じてさらなる販売拡大を実現してまいります。これに伴い、特定の国・地域や取引先に依存しない販売の多角化を図り、並行して需要量増加に伴う新たな生産拠点の検討も進めていく

計画です。また、研究開発部門においては、人的リソース・ファシリティの強化により、高機能な薬液の開発を推し進め、競合他社との差別化を図り、競争力を高めてまいります。

新規事業の創出につきましては、半導体分野だけにとどまらず、フッ素化学を基礎とする独自技術を活かした研究開発の推進によって、高付加価値製品の開発に注力しています。加えて、研究開発成果を着実に事業に結びつけるため、マーケティングの視点における営業部門との連携強化など、事業確立に向けた取り組みを推進しています。

当社と同じく半導体用高純度薬液を扱う Soulbrain は、1986年に設立され、韓国の先端 IT 産業の発展とともに歩んできた企業です。半導体、ディスプレイ、二次電池などの先端産業に必要な精密化学素材領域で地位を築いてきました。1980年代からは、半導体およびディスプレイなど先端製品を生産するために必要な主要革新素材の国産化を推進し、二次電池素材事業にも領域を拡大しています。

当社と Soulbrain の子会社である Soulbrain Co., Ltd. は、過去に、フッ素化合物を中心とする高純度薬品の製造・販売を行う合弁会社 FECT CO., LTD.（所在地：大韓民国忠清南道公州市、以下「FECT」といいます。）とともに運営する関係にありました。具体的には、当社と Soulbrain Co., Ltd. および丸善薬品産業株式会社（所在地：大阪市中央区道修町2丁目4-7）は、韓国における半導体市場の開拓や販売促進を目的に、1994年11月に FECT を設立し、合弁事業を開始いたしました。

2021年12月、日本および韓国の事業環境等に急激な変化があったことから、当社の保有する FECT の株式の全てを Soulbrain Co., Ltd. へ譲渡し、合弁を解消することとなりましたが、その後も当社と Soulbrain Co., Ltd. およびその親会社である Soulbrain は相互の協力関係のもと、韓国市場での販売等を展開し、良好な取引関係は現在に至るまで継続しています。また、両社が属する半導体業界は、AI 需要の高まりやデータセンター投資等の拡大によって、今後一層のマーケットの拡大が予想されています。

そのような環境下、将来にわたって現在の協力関係を確固たるものとし、半導体市場および新規事業領域における両社の企業価値最大化を図るべく、このたび、本資本業務提携契約を締結するに至りました。両社がそれぞれの新規事業創出を図るため、マーケティングの視点における Soulbrain との連携強化を図り、事業確立に向けた取り組みを推進してまいります。

(2) 本資本業務提携に至る経緯

上記「(1) 本資本業務提携の目的および理由」に記載のとおり、当社は高純度薬品事業の主力製品である半導体用高純度薬液分野において、高い品質と安定供給体制を強みとして競争力を築いてまいりました。

また、当社売上高は、高純度薬品事業の中でも半導体関連の事業に係る売上が占める割合が高く、循環的な市況変動が大きい半導体業界の動向によって、当社業績は左右されることがあります。そのリスクを補うため、継続的な製品競争力の強化や他事業分野の製品開発に注力しています。

そのような中、当社は、①かつて韓国にて半導体市場の開拓や販売促進を目的とした合弁事業をともに運営した経験もあり、②当該合弁を解消した以降も高純度薬品事業におけるパートナーとして相互に良好な関係を継続しており、③グループ子会社において、ヘルスケア、ディスプレイ材料、光学フィルム分野などの製造販売に係る分野を有している、Soulbrain とのアライアンスを強化することが重要であると考えに至りました。

そのため当社は、2025年8月より Soulbrain との間で業務提携による両社の関係性強化等について意見交換を開始いたしました。両社が相互の強みを活かして、高純度薬品事業に係

る従来以上の連携についての協議を進めてきた結果、両社の協業施策によるシナジー効果創出の蓋然性を確認することができました。

そのうえで、2025年10月からは、業務提携をより確実なものとし、将来にわたって現在の協力関係を確固たるものとする観点から、相互の株式保有という選択肢を含めた両社の資本提携について、具体的な協議を行ってまいりました。その結果、相互の株式保有についても合意したため、本資本業務提携を実施することといたしました。

2. 本資本業務提携の内容

(1) 業務提携の内容

当社および Soulbrain は、本資本業務提携を通じて、相互の発展のために各社の得意分野や経営資源を提供し合って業務提携を行い、新製品の研究、開発および販売を協力して推進いたします。

具体的には、高純度薬品事業（ヘルスケア、ディスプレイ材料、光学フィルム分野などの業務分野を含む。）について協業関係を構築し、必要に応じて戦略的投資を行っていくことで、半導体市場および新規事業領域における両社の企業価値最大化を図ります。

また、今般、当社は、本資本業務提携に基づく戦略的投資の一環として、サンフロロシステム株式会社（所在地：大阪府茨木市横江2丁目20番29号、以下「サンフロロシステム」といいます。）に間接的に出資することを決定いたしました。具体的には、現在、韓国でのファンド事業やM&Aで数多くの実績を有しているNAU IB CAPITAL（Soulbrainのグループ子会社、所在地：3F, Glass Tower, 534, Teheran-ro, Gangnam-gu, Seoul06181, Korea）が既にサンフロロシステムへの出資のためにM&Aファンドを組成済みであり、その内、Soulbrain Co., Ltd. が有しているLP出資の一部（金額にして約15億円分）を譲り受けることにより、サンフロロシステムに間接的に出資いたします。（当社とSoulbrain Co., Ltd. は、2026年2月24日付で持分譲渡を定める契約を締結いたします。）

サンフロロシステムは、当社グループにとって非常に重要な発注先であり、フッ素樹脂シートライニングの設計、施工・販売、製造設備タンクの診断点検事業等を営んでおります。具体的には、当社グループの原料や製品等を貯蔵・保管するISOコンテナのシートライニング等をサンフロロシステムへ発注しており、高純度薬品事業における原料調達や製品輸送において、重要な役割を担う取引先でもあります。サンフロロシステムの主な顧客層には、半導体製造会社、薬液製造会社、化学会社等があり、中でも半導体製造会社が最大の割合を占めており、半導体設備投資の増加と生成AI需要の増加により、今後も半導体バリューチェーン内の企業の需要増加が見込まれています。

以上より、本資本業務提携は、今後の当社の発展において必要不可欠と判断しております。

【サンフロロシステムの概要】

(1)名称	サンフロロシステム株式会社	
(2)所在地	大阪府茨木市横江2丁目20番29号	
(3)代表者の役職・氏名	代表取締役 深串 徹	
(4)事業内容	フッ素樹脂シートライニングの設計施工・販売 製造設備タンクの診断点検事業	
(5)資本金 (2025年4月1日時点)	92.5百万円	
(6)設立年月日	1992年11月5日	
(7)当社と当該会社との関係		
	資本関係	該当事項はありません。

人的関係	該当事項はありません。
取引関係	ISO コンテナーなどのシートライニング等を発注しております。
関連当事者への該当状況	該当事項はありません。

(注) 当該会社は、非公開会社であり、開示が可能な項目のみ記載しております。

なお、Soulbrain が行う事業には、当社グループの事業と同じ、また隣接する分野の事業が含まれていますが、本資本業務提携は両社の事業を制約するものではありません。

(2) 資本提携の内容

当社は、本第三者割当により、Soulbrain に当社の普通株式 389,200 株（議決権数 3,892 個）（2025 年 9 月 30 日現在の当社の発行済株式総数に対する割合 3.00%、議決権総数に対する割合 3.25%、総額約 21 億円）を割り当てます。

また、当社は、Soulbrain の普通株式 363,088 株（議決権数 20,082,893 個）（2025 年 9 月 30 日現在の Soulbrain の発行済株式総数に対する割合 1.73%、議決権所有割合 1.81%、総額約 21 億円）を取得する予定です。なお、当該 Soulbrain の普通株式の取得に要する資金は、下記「Ⅱ. 第三者割当による自己株式の処分 3. 調達する資金の額、用途および支出予定時期 (2) 調達する資金の具体的な用途」とおり、実質的には、本第三者割当により調達する資金により充当されるものとなります。

資本提携の詳細は、下記「Ⅱ. 第三者割当による自己株式の処分」もご参照ください。

3. 本資本業務提携の相手先の概要

(1) 名称	Soulbrain Holdings Co., Ltd. (Soulbrain Holdings 株式会社)
(2) 所在地	5F, 34, Pangyo-ro 255beon-gil, Bundang-gu, Seongnam-si, Gyeonggi-do, Republic of Korea
(3) 代表者の役職・氏名	Co-CEO Chung Hyun Suk Co-CEO Chung Moon Ju
(4) 事業内容	半導体材料、ディスプレイ材料、二次電池材料の製造・販売等
(5) 資本金 (2025 年 9 月 30 日時点)	10,482 百万韓国ウォン (約 1,114 百万円)
(6) 設立年月日	1986 年 5 月 6 日
(7) 発行済株式数	20,964,056 株
(8) 決算期	12 月 31 日
(9) 従業員数	1,390 名
(10) 主要取引先	一般法人等
(11) 主要取引銀行	新韓銀行等
(12) 大株主および持ち株比率 (2025 年 9 月 30 日時点)	チョン・ジwon : 55.89% イム・ヘオク : 14.61% マテリアルズパーク(株) : 3.14% チョン・ムンジュ : 1.09% チョン・ジフン : 0.48% チョン・ジョン : 0.17% チョン・ホギョン : 0.15% チョン・ヘジョン : 0.01% チョン・インギョン : 0.01% キム・ヒョクス : 0.00%

(13) 当事会社間の関係			
	資本関係	該当事項はありません。	
	人的関係	該当事項はありません。	
	取引関係	販売の取引関係があります。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はありません。	
(14) 当該会社の最近3年間の連結経営成績および連結財政状態			
決算期	2022年12月期	2023年12月期	2024年12月期
連結純資産	1,181,784百万韓国ウォン (約124,678百万円)	1,264,179百万韓国ウォン (約139,691百万円)	1,491,135百万韓国ウォン (約160,446百万円)
連結総資産	1,689,281百万韓国ウォン (約178,219百万円)	1,784,937百万韓国ウォン (約197,235百万円)	1,996,621百万韓国ウォン (約214,836百万円)
連結売上高	565,106百万韓国ウォン (約59,618百万円)	661,555百万韓国ウォン (約73,101百万円)	515,379百万韓国ウォン (約55,454百万円)
連結営業利益	73,497百万韓国ウォン (約7,753百万円)	120,961百万韓国ウォン (約13,366百万円)	85,313百万韓国ウォン (約9,179百万円)
連結経常利益	43,601百万韓国ウォン (約4,599百万円)	102,986百万韓国ウォン (約11,379百万円)	79,704百万韓国ウォン (約8,576百万円)
親会社株主に 帰属する当期純利益	64,189百万韓国ウォン (約6,771百万円)	91,027百万韓国ウォン (約10,058百万円)	58,768百万韓国ウォン (約6,323百万円)
1株当たり 連結当期純利益	3,107ウォン (約327円)	4,406ウォン (約486円)	2,846ウォン (約306円)
1株当たり 連結純資産	55,592ウォン (約5,865円)	59,882ウォン (約6,617円)	63,970ウォン (約6,883円)
1株当たり配当金	170ウォン (約17.9円)	200ウォン (約22.1円)	220ウォン (約23.6円)

- (注) 1. 上記表は別途記載のある場合を除き、本日現在のものです。
2. (5) 資本金の日本円に関する記載は、2025年9月30日時点の三菱UFJ銀行の為替レートで換算した金額を記載しており、(14) 当該会社の最近3年間の経営成績および財政状態の日本円に関する記載は、各年度末日の三菱UFJ銀行の為替レートで換算した金額を参考として記載しております。
3. 上記表の数値は全て切り捨てにて記載しております。
4. (9) 従業員数はSoulbrain Holdings Co., Ltd.、Soulbrain Co., Ltd.、Soulbrain MI, Inc.、Soulbrain HU Kft. 以上4社の合計従業員数を記載しております。

※割当予定先である Soulbrain は韓国取引所 (KOSDAQ 市場) に上場しており、当社は、割当予定先および割当予定先の代表者について、反社会的勢力と何らかの関係を有していないかを、Web 等のメディア掲載情報を検索することにより、割当予定先が反社会的勢力でない旨を確認しております。また総合的に判断したうえで、当社は割当予定先、その主要株主および役員が反社会的勢力ではなく、また反社会的勢力とは一切関係がないことを確認している旨の確認書を東京証券取引所に提出しております。

4. 日程

(1) 本資本業務提携および本第三者割当に関する取締役会決議日	2026年2月24日
(2) 本資本業務提携契約締結日	2026年2月24日
(3) 本資本業務提携契約による業務提携の開始日	2026年2月25日（予定）
(4) 本第三者割当に関する契約締結日および払込期日	2026年3月12日（予定）

5. 今後の見通し

本資本業務提携および本第三者割当は、当社の持続的な成長と中長期的な企業価値向上に資するものであると判断しております。なお、2026年3月期の連結業績に与える影響は軽微であり、今後、開示すべき事項が生じた場合は、判明後速やかに公表いたします。

II. 第三者割当による自己株式の処分

1. 処分の概要

(1) 処分期日	2026年3月12日
(2) 処分株式数	普通株式 389,200 株
(3) 処分価額	1 株につき金 5,290 円
(4) 調達資金の額	金 2,058,868,000 円
(5) 処分方法 (割当予定先)	第三者割当の方法により Soulbrain に全株式を割り当てます。
(6) その他	上記各号については、金融商品取引法による届出の効力発生を条件とします。

2. 処分の目的・理由

上記「I. 本資本業務提携の概要 1. 本資本業務提携の目的および理由等」をご参照ください。

3. 調達する資金の額、使途および支出予定時期

(1) 調達する資金の額

① 払込金額の総額	2,058,868,000 円
② 発行諸費用の概算額	3,000,000 円
③ 差引手取概算額	2,055,868,000 円

(注) 1. 発行諸費用の概算額には、消費税等は含まれておりません。

2. 発行諸費用の概算額の内訳は、有価証券届出書等の書類作成費用（弁護士費用等）であります。

(2) 調達する資金の具体的な使途

具体的な使途	金額	支出予定時期
Soulbrain の普通株式取得資金	2,059 百万円	2026年2月27日

(注) 取得資金の日本円に関する記載は、2026年2月24日時点の三菱UFJ銀行の為替レートで換算した金額を記載しております。

上記「I. 本資本業務提携の概要 1. 本資本業務提携の目的および理由等」に記載のとおり、当社と割当予定先である Soulbrain との間での業務提携を進めるにあたり、相互に株式を取得することが、両社の協力体制を構築し、業務提携をより確実なものにする判断し、新たに資本関係を構築することといたしました。そのため、本第三者割当により調達する上記差引手取概算額 2,055 百万円につきましては、その全額を本資本業務提携契約に基づき

2026年2月25日に約定予定の韓国取引所（KOSDAQ市場）の時間外大量売買方式によるSoulbrainの普通株式の取得に係る資金に充当します。

当社は、本第三者割当に係る払込みに先立ち、2026年2月27日にSoulbrainの普通株式の取得対価として売主に対して自己資金から2,059百万円を支払う予定であり、その後、本第三者割当による自己株式処分に際し、払込期日である2026年3月12日に、払込金額の総額として当該金額と概ね同額である2,058百万円がSoulbrainより当社に対して支払われ、自己資金に補填される予定です。したがって、本第三者割当は、実質的には、Soulbrainの普通株式の取得対価の支払として行われるものとなります。

4. 資金使途の合理性に関する考え方

本第三者割当は、上記「I. 本資本業務提携の概要 1. 本資本業務提携の目的および理由等」に記載のとおり、Soulbrainとの業務提携と併せて実施するものであり、両社の業務提携をより確実なものにするためのものであります。本第三者割当により調達した資金をかかる使途に充当することにより、当社の中長期的な企業価値向上に資するものと考えており、本第三者割当の資金使途については合理性があると判断しております。

5. 処分条件の合理性

(1) 払込金額の算定根拠およびその具体的内容

本株式の払込金額は、割当予定先であるSoulbrainとの協議を経て、本第三者割当に係る取締役会の直前営業日（2026年2月20日）の東京証券取引所における当社普通株式の終値である5,290円といたしました。

当社が取締役会決議日の直前営業日の終値を払込金額としたのは、当社の企業価値を最も合理的に反映していると考えられる当社普通株式の市場価格を基準に決定しており、日本証券業協会の「第三者割当増資の取り扱いに関する指針」では、第三者割当増資の払込金額は、原則として取締役会決議日の直前営業日の株価に0.9を乗じた額以上の価額であるべきこととされているため、この払込金額は合理的であると認識しております。

なお、当該払込金額は取締役会決議日の直前営業日までの直近1か月間（2026年1月21日～2026年2月20日）の終値平均値5,328円（円未満を四捨五入。以下、終値平均値の算出について同じ）に対して0.71%のディスカウント、取締役会決議日の直前営業日までの直近3か月間（2025年11月21日～2026年2月20日）の終値平均値4,688円に対して12.84%のプレミアム、取締役会決議日の直前営業日までの直近6ヶ月間（2025年8月21日～2026年2月20日）の終値平均値4,424円に対して、19.58%のプレミアムとなっております。

また、本株式の払込金額の決定にあたっては、当社監査等委員会より、上記記載と同様の理由により当該払込金額の算定根拠には合理性があり、また、日本証券業協会の「第三者割当増資の取り扱いに関する指針」に準拠したものであり、割当予定先に特に有利な払込金額には該当せず、当該払込金額は適法である旨の意見を得ております。

(2) 処分数量および株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠

本第三者割当における処分株式数389,200株（議決権数3,892個）は、2025年9月30日現在の当社発行済株式総数12,973,248株（議決権数119,625個）の3.00%（議決権総数に対し3.25%）（小数点第三位を四捨五入）に相当するものです。しかしながら、当社としては、本第三者割当により調達した資金を上記の資金使途に充当することにより、今後の当社の企業価値向上に寄与するものと見込まれ、既存株主の利益にも資するものと判断しております。

以上より、今回の処分数量および株式の希薄化の規模は、かかる目的達成のうえで合理的であると判断いたしました。

6. 割当予定先の選定理由等

(1) 割当予定先の概要

上記「I. 本資本業務提携の概要 3. 本資本業務提携の相手先の概要」に記載のとおりであります。

(2) 割当予定先を選定した理由

当社が割当予定先として Soulbrain を選定した理由は、上記「I. 本資本業務提携の概要 1. 本資本業務提携の目的および理由等」に記載のとおりであります。

また、Soulbrain との本資本業務提携の主な内容につきましては、上記「I. 本資本業務提携の概要 2. 本資本業務提携の内容」をご参照ください。

(3) 割当予定先の保有方針

割当予定先からは、本第三者割当により取得する当社普通株式を現時点では中長期的な視点で保有する方針であることを口頭で確認しております。

なお、当社は、割当予定先から、割当予定先が払込期日から2年以内に本第三者割当により処分される株式の全部または一部を譲渡した場合には、その内容を当社に対して書面により報告すること、当社が当該報告内容を東京証券取引所に報告すること、および当該報告内容が公衆の縦覧に供されることに同意することにつき、確約書を取得する予定です。

(4) 割当予定先の払込に関する財産の存在について確認した内容

当社は、割当予定先である Soulbrain から、本第三者割当に係る払込みに要する資金は確保されている旨の報告を受けており、また割当予定先は韓国取引所（KOSDAQ 市場）に上場しており、同取引所向けの2025年9月30日時点の第3四半期に係る開示書類を確認した結果、割当予定先が本第三者割当に係る払込みに必要な現金および現金同等物を有していることを確認しております。

7. 処分後の大株主および持ち株比率

処分前（2025年9月30日現在）		処分後	
日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	13.08%	日本マスタートラスト信託銀行株式会社（信託口）	12.67%
株式会社 FUKADA	10.03%	株式会社 FUKADA	9.72%
NIPPON ACTIVE VALUE FUND PLC（常任代理人 香港上海銀行東京支店）	4.59%	NIPPON ACTIVE VALUE FUND PLC（常任代理人 香港上海銀行東京支店）	4.45%
橋本 亜希	4.35%	橋本 亜希	4.21%
STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103（常任代理人 株式会社みずほ銀行）	4.17%	STATE STREET BANK AND TRUST COMPANY 505103（常任代理人 株式会社みずほ銀行）	4.04%
株式会社日本カストディ銀行（信託口）	3.57%	株式会社日本カストディ銀行（信託口）	3.46%
橋本 信子	3.06%	SOULBRAIN HOLDINGS CO., LTD.	3.14%
深田 麻実	2.79%	橋本 信子	2.97%
CACEIS BANK, LUXEMBOURG BRNCH/AIF	2.75%	深田 麻実	2.70%

CLIENTS ASSETS (常任代理人 香港上海銀行 東京支店)			
THE BANK OF NEW YORK - JASDECTREATY ACCOUNT (常任代理人 株式会社みずほ銀行)	2.51%	CACEIS BANK, LUXEMBOURG BRNCH/AIF CLIENTS ASSETS (常任代理人 香港上海銀行 東京支店)	2.66%

(注)1. 処分前の持株比率は、2025年9月30日現在の株主名簿を基準として発行済株式(自己株式990,078株を除きます。)の総数に対する保有株式数の割合を記載しております。

2. 持株比率は、小数点以下第3位を切り捨てています。

3. 処分後の大株主および持株比率については、2025年9月30日現在の自己株式を除く発行済株式総数11,983,170株に本自己株式処分による株式数389,200株を加えた12,372,370株を発行済株式総数とみなして算出した保有株式数の割合を記載しております。

4. 2025年7月22日付で公衆の縦覧に供されている大量保有報告書(変更報告書)において、ニッポン・アクティブ・バリュー・ファンドおよびその共同保有者であるエヌエーブイエフ・セレクト・エルエルシー、ダルトン・インベストメンツ・インクが2025年7月14日現在で以下の株式を保有している旨が記載されているものの、当社として2025年9月30日現在における実質所有株式数の確認ができませんので、上記大株主の状況には含めていません。

なお、大量保有報告書(変更報告書)の内容は以下のとおりです。

氏名または名称	住所	保有株件等の数(千株)	株券等保有割合(%)
ニッポン・アクティブ・バリュー・ファンド(NIPPON ACTIVE VALUE FUND PLC)	イギリス連合王国ロンドン市ジェームズストリート46-484階(4th Floor, 46-48 James Street, London, U.K.)	550	4.24
エヌエーブイエフ・セレクト・エルエルシー(NAVF Select LLC)	アメリカ合衆国デラウェア州ニューキャッスル・カウンティ、ウィルミントン、リトルフォールドライブ251(251 Little Falls Drive, Wilmington, New Castle County, Delaware USA)	219	1.69
ダルトン・インベストメンツ・インク(Dalton Investment, Inc.)	米国ネバダ州89117、ラスベガス市、ウエストサハラアベニュー9440スイート215(9440 West Sahara Avenue, Suite 215, Las Vegas, Nevada 89117, USA)	2,104	16.22
計	—	2,874	22.16

8. 今後の見通し

本資本業務提携および本第三者割当は、当社の持続的な成長と中長期的な企業価値に資するものであると判断しております。なお、2026年3月期通期連結業績予想に与える影響は軽微であり、今後、開示すべき影響等が判明した場合には、速やかにお知らせいたします。

9. 企業行動規範上の手続きに関する事項

本第三者割当は①希薄化率が25%未満であること、②支配株主の異動を伴うものではないことから、東京証券取引所の定める上場規程第432条に定める独立第三者からの意見入手お

よび株主の意思確認手続きは要しません。

10. 最近3年間の業績およびエクイティ・ファイナンスの状況

(1) 最近3年間の業績（連結）

	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
売上高	35,382百万円	30,446百万円	36,288百万円
営業利益	3,514百万円	2,722百万円	4,338百万円
経常利益	4,347百万円	3,064百万円	4,161百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,280百万円	1,845百万円	2,892百万円
1株当たり当期純利益	186.03円	153.48円	241.00円
1株当たり配当金（うち 1株当たり中間配当金）	60.00円 (30.00円)	154.00円 (60.00円)	170.00円 (85.00円)
1株当たり連結純資産	3,568.67円	3,679.90円	3,791.73円

(2) 現時点における発行済株式数および潜在株式数の状況（2025年9月30日現在）

	株式数	発行済株式数に対する比率
発行済株式数	12,973,248株	100%
現時点の転換価額（行使価額） における潜在株式数	－株	－%
下限値の転換価額（行使価額） における潜在株式数	－株	－%
上限値の転換価額（行使価額） における潜在株式数	－株	－%

(3) 最近の株価の状況

① 最近3年間の状況

	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期
始 値	2,590円	2,679円	3,690円
高 値	3,020円	3,985円	4,660円
安 値	2,291円	2,559円	3,255円
終 値	2,641円	3,690円	3,860円

② 最近6か月間の状況

	2025年8月	9月	10月	11月	12月	2026年1月
始値	4,305円	4,155円	4,080円	4,100円	4,170円	4,380円
高値	4,340円	4,380円	4,300円	4,270円	4,450円	5,350円
安値	4,085円	4,085円	3,965円	3,890円	4,070円	4,380円
終値	4,160円	4,085円	4,100円	4,135円	4,390円	5,300円

③ 処分決議日前営業日における株価

	2026年2月20日
始値	5,270円
高値	5,300円
安値	5,220円
終値	5,290円

(4) 最近3年間のエクイティ・ファイナンスの状況

該当事項はありません。

11. 処分要項

(1) 処分株式数	普通株式 389,200 株
(2) 処分価額	1 株につき金 5,290 円
(3) 処分価額の総額	金 2,058,868,000 円
(4) 処分期日	2026 年 3 月 12 日
(5) 処分方法 (割当予定先)	第三者割当の方法により、Soulbrain に全株式を割り当てます。
(6) 処分後の自己株式数	601,078 株
(7) その他	上記各号については、金融商品取引法に基づく届出の効力発生を条件とします。

(注) 処分後の自己株式数は、2025 年 12 月 31 日現在の自己株式 (990,278 株) を基準として算出しております。

以 上